

## 1 基本理念

一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり ～ 子どもたちの「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進 ～

少子高齢化やグローバル化など社会の状況が激しく変化する中、子どもたちが将来、夢や希望を実現し、地域の担い手として活躍していくためには、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるだけでなく、一人一人が個性を發揮し自らの可能性に挑戦し、一人では解決が困難な課題についても、多様な人々と協働しながら乗り越えていく力を育成することが不可欠である。そこで、ふくいの風土に根付いた教育文化のよいところは次世代へ継承しつつ、教員が教え込むのではなく、子ども自身の個性に気づかせ、それを伸ばしていくような「引き出す教育」や、好奇心や探究心を持って学びを自ら進んで「楽しむ教育」を、地域や家庭などとの幅広い連携・協働のもとで推進する。

## 2 目指す人間像

### ① 自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人

#### 【施策の方向性】

- (1) 学校段階間の接続の推進
  - 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育を充実させ、小学校との円滑な接続を推進
  - 普通科・職業系学科を問わず、県内外の大学と高等学校が連携した探究的な学習を充実
- (2) 確かな学力の育成
  - 習熟度別・少人数指導の充実や、ICT等を活用して一人一人の能力を最大限に引き出すことで、すべての子どもの学びを保障
  - 学びの基盤となる読み解く力を育成し、表現する力を伸長
  - 授業の専門性を高めるため、小学校における教科担任制を推進
- (3) 自ら学ぶ意欲の向上
  - 教職員が一方向的に教えるのではなく、「知らないものを知りたいと思う心」に火をつけ、驚きや疑問、感動に出会い、問題意識が子どもたち自身に生まれるような探究的な学習を推進
- (4) 競技スポーツの振興
  - ジュニア期の選手を発掘・育成する仕組みの確立や、スポーツ指導者の活用や選手の強化活動の支援
- (5) 文化芸術活動の充実
  - 文化施設や文化芸術団体等と連携し、子どもの頃から一流の文化芸術を鑑賞・体験する機会や、地域の文化財や伝統芸能に親しむ機会を充実

### ② 多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人

#### 【施策の方向性】

- (1) 豊かな心と健やかな体の育成
  - 学校での道徳教育や特別活動、体験学習、地域貢献活動、読書活動などを通して、「互いに認め合おうとする態度」を育成
  - 生涯にわたり健康でたくましく生きていけるよう、望ましい生活習慣を確立
- (2) 国際感覚を持った人材の育成
  - 海外留学や姉妹校提携、外国人留学生の受入れ等を通じた国際交流の拡大など、海外の子どもたちと実際にふれあいながら国際理解を図る機会を充実
- (3) 特別支援教育の推進
  - 障がいの早期発見や校内支援体制の充実、障がい理解教育の推進を図るとともに、地域や社会との連携を強め、適切な就学先決定と就労支援を推進
  - 教職員の障がいに対する理解を深め、ICT等を活用した学習を進めるなど、指導上の専門性を向上
- (4) いじめ・不登校対策の充実
  - 専門家や関係機関等と連携し、いじめの未然防止と早期発見・早期対応や不登校対策などに学校を挙げて取り組む

### ③ ふるさとや自然を愛し、いつでもどこにいても社会や地域に貢献する人

#### 【施策の方向性】

- (1) ふるさとを愛する心の育成
  - 郷土の先人や歴史、自然、伝統・文化、産業について学び、発信する取組の充実
  - 地域課題を発見・解決する学習を通して、ふるさと福井の今を正しく理解し、地域に貢献しようとする気持ちを育成
- (2) 地域産業を担う人材の育成
  - 職業系高校の魅力を高めるため、起業家精神の育成や、専門性の高い資格の取得、検定への挑戦、実践的・分野横断的な視点を重視した学習を充実
  - 経済界と若手教員との交流や、企業経営者等による「ようこそ先輩」授業の拡大など、子どもや保護者、教員が企業の魅力を知る機会の充実
- (3) 生涯学習の振興
  - 各種団体の活性化や相互の連携を支援するとともに、学習機会や情報を幅広く県民に提供
  - 地域の人々や地域の課題解決に向けた活動や、それらを支援する拠点として図書館等の機能を充実

## 3 新たな時代を見据えた環境づくり

3つの「目指す人間像」すべてに関連し、新たな時代を見据えた環境づくりに向けて取り組むべき「施策の方向性」は次のとおり。

#### 【施策の方向性】

- (1) 教員の資質・能力を高め、最大限に力を發揮できる環境づくり
  - 体系的な研修を通して専門性を向上
    - 学校の内外を問わず社会に関わることで人間性を豊かに
  - 教育活動に専念でき、心身ともにゆとりをもって子どもと向き合えるよう、学校の業務改善や教職員の働き方改革を確実に推進
- (2) 家庭や地域と一体となった教育力の向上
  - 地域の人々を積極的に活用した教育活動や「放課後児童クラブ」等の充実
    - 子育てに係る相談体制や情報発信の強化、保護者同士が悩みを共有し学び合う機会を充実
- (3) 安全で質の高い学校施設の整備
  - 老朽化対策をはじめ、空調設置や省エネ化、バリアフリー化など、学校施設の整備を推進